

平成29年度の重点目標達成に向けたテーマ及び具体的な取組（学年・分掌版）

学 年・分 掌 名： 総務部

記入者氏名： 高橋直樹

本年度の重点目標

人材育成と自己実現

すべての教育活動を通じて人材育成を図り、人格の完成と自己実現を支援する

*** 実践指針**

すべての教育活動において「追究姿勢の育成」を念頭に置き、これを通して、先行き不透明な時代に挑戦し、自己と社会の未来を切り拓く人材（21世紀人材）の育成を図り、人格の完成と進路目標の達成を含めた自己実現を支援する。

*** 具体的な手立て（該当番号に○印）**

- 1 多様な能力を活用する授業等を通して学力の向上を図る
- ② 各種追究活動を通して自己啓発の意欲と追究姿勢の強化を図る
- 3 深い生徒理解を基盤として自己実現を支援する
- ④ 社会貢献活動等を通して地域や社会に信頼される人材の育成を図る
- 5 部活動など特別活動の活性化を通して豊かな人間性を育む。
- 6 国際交流の活性化を通して情報活用力を含めた国際性の育成を図る

月	各学年・分掌のテーマ及び具体的取組の作成及び実践 Plan～Do
4 6 月	<p>(テーマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入学式・卒業式・始業式・終業式などの各儀式の円滑な実施、運営と内容の充実を図る。 ・ PTA・同窓会・地域社会との連携・相互理解を深め、各活動への積極的参加と活動内容の充実を図る。 <p>(具体的取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 儀式参加の意欲を高めるための声かけ、アドバイスの工夫を図る。(放送連絡や入場順の検討) ・ 卒業式前の歌唱練習や答礼練習の強化を図る。 ・ 儀式についてのアンケート実施と活用。 ・ 避難所開設を見越した地域参加型避難訓練の継続。メールによる安否確認の訓練の実施。
4 7 月	<p style="text-align: center;">各学年・分掌の検証方法及び具体的取組の検証（1） Check</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1回目指導主事等学校訪問での指導事項 ・ 管理職及び分掌主任会議による検証 ・ 第1回授業アンケートの結果 ・ 第1回学校評議員会での提言・指摘事項 <p>(検証結果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の儀式への参加態度は良好である。校歌斉唱も大きな声で行われている。賞状伝達式での答礼は、部によってやや差がある。 ・ 入学式後のアンケートでは、放送に関する苦情が多く今後事前チェックを強化したい。保護者の配置についての意見は卒業式等で反映させていきたい。 ・ 集会の仕方について昨年度と同じ整列にし、放送連絡も早めに行っているが、整列完了までさらに時間を短縮させたい。総務部・学年部で教室で指導する職員を置きたい。 ・ 今年度から新たに給付型奨学金の事業が始まり、それに伴う事務手続きも白紙の状態からスタートしたが支障なく進められた。 ・ PTA 総会、学年 PTA、PTA 事業についての参加率は例年通り高い。 ・ 昨年度末にリニューアルした内規集は、円滑に活用されている。

検証（１）から、改善のための具体的取組 Action～Do

8
|
11
月

- (改善のための具体的取組)
- ・集会時の整列完了までの時間を短縮するために、放送指導、体育館での整列指導を徹底する。
 - ・給付型奨学金の事業の円滑な運営。
 - ・PTA 行事への保護者の参加率を上げるために、案内送付をこれまでより早く行う。
 - ・地域住民参加型の避難訓練の実施。
 - ・内規集が円滑に利用されているか随時検証する。
 - ・センター試験のための会場設営に関する業務を円滑に行うために早めの準備を心がける。
 - ・次年度の行事検討に関して準備時期を早める。
 - ・卒業式関連の日程作成を早めに行い、他分掌と連携して円滑に進める。

改善のための具体的取組の検証（２）、次年度に向けて Check～Plan

12
|
2
月

- ・学校訪問での指導事項
- ・管理職及び分掌主任会議による検証
- ・授業アンケート結果

- (検証結果)
- ・集会時の整列指導は行ったが、さらに時間を短縮できる余地はあるように思える。今後は廊下や階段等での指導も取り入れたい。
 - ・給付型奨学金関連の事業については円滑に運営されている。
 - ・PTA 行事への参加率は高かった。とくに会長、副会長には多くの事業に参加いただき、その成果は PTA 会報に掲載できた。あいさつ運動の参加率は例年並みであった。
 - ・地域住民参加型の避難訓練は例年通り行った。水害等の天災が身近で起きているので今後参加率をもっと高めていきたい。
 - ・内規集は支障なく利用されている。
 - ・センター試験準備は今年度からの新たに入った業務であったが支障なく行えた。
 - ・次年度の行事検討は例年より1ヶ月速いペースで進められた。
 - ・卒業式関連の計画立案や保護者への案内を昨年より早めに進めた。卒業式前に定期考査や国公立大前期入試と重なる時期を支障なく乗り切りたい。
 - ・保護者アンケートから創立 120 周年記念事業への期待が大きいことがわかる。今後、美入野会と連携して円滑に行いたい。

- (次年度に向けて)
- ・保護者アンケートから校内の環境整備改善についての多くの声が寄せられた。月初めの安全点検をこれまで以上に強化したい。
 - ・PTA 関連の行事、事業の見直しを図りたい。(会議次第、事業報告の仕方、研修参加の人選方法、講演会等の企画の立ち上げ)

(外部評価) 2月27日(火) 学校評議員会・学校評価委員会の評価

- ・総務部 評価は B ○
PTA の行事等の参加率は今年度も高い水準(60%台)を維持しているが、現状に満足することなく、講演会等を企画するなど、PTA の行事のさらなるバージョンアップに期待する。一方で地域住民参加型の避難訓練については、住民の参加が頭打ち傾向にあり、参加率向上に向けた取組が必要に感じる。平成 30 年度は 120 周年記念事業を控えており、今後とも同窓会と連携し円滑な事業遂行をお願いしたい。